

# 【概要版】

## 北九州市産業振興未来戦略

素案

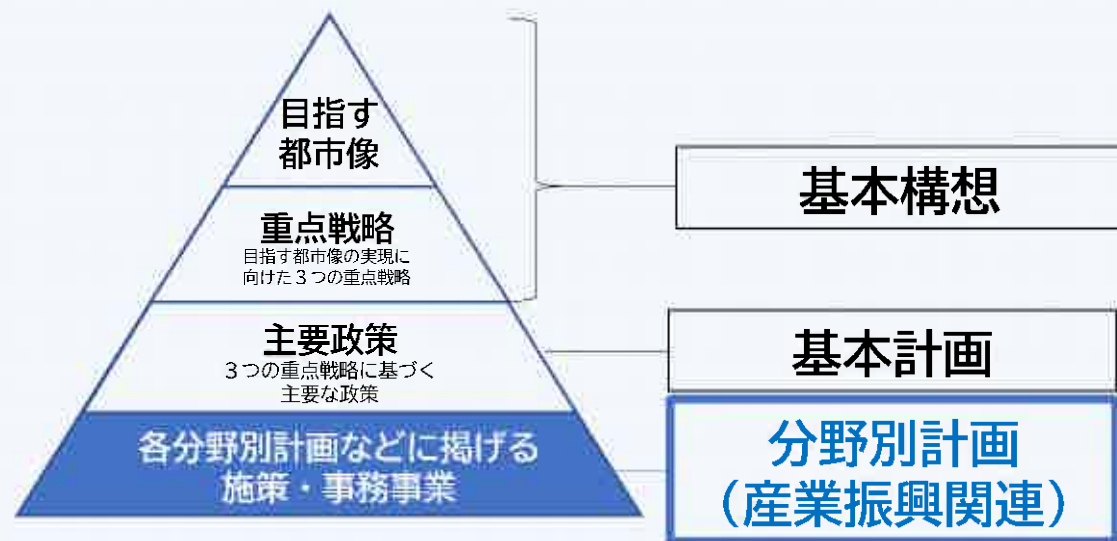


令和 6 年 2 月  
北九州市産業経済局

# 戦略の位置づけ

今後のまちづくりの方向性を示す新たなビジョン（新基本構想・基本計画）では、経済成長を最優先課題に位置付けており、**10年以内に市内総生産額「4兆円」**を目指すこととしています。

本戦略は「稼げるまち」の実現に向けた具体的な道しるべ（指針）であるとともに、新たなビジョンの分野別計画という位置づけになります。

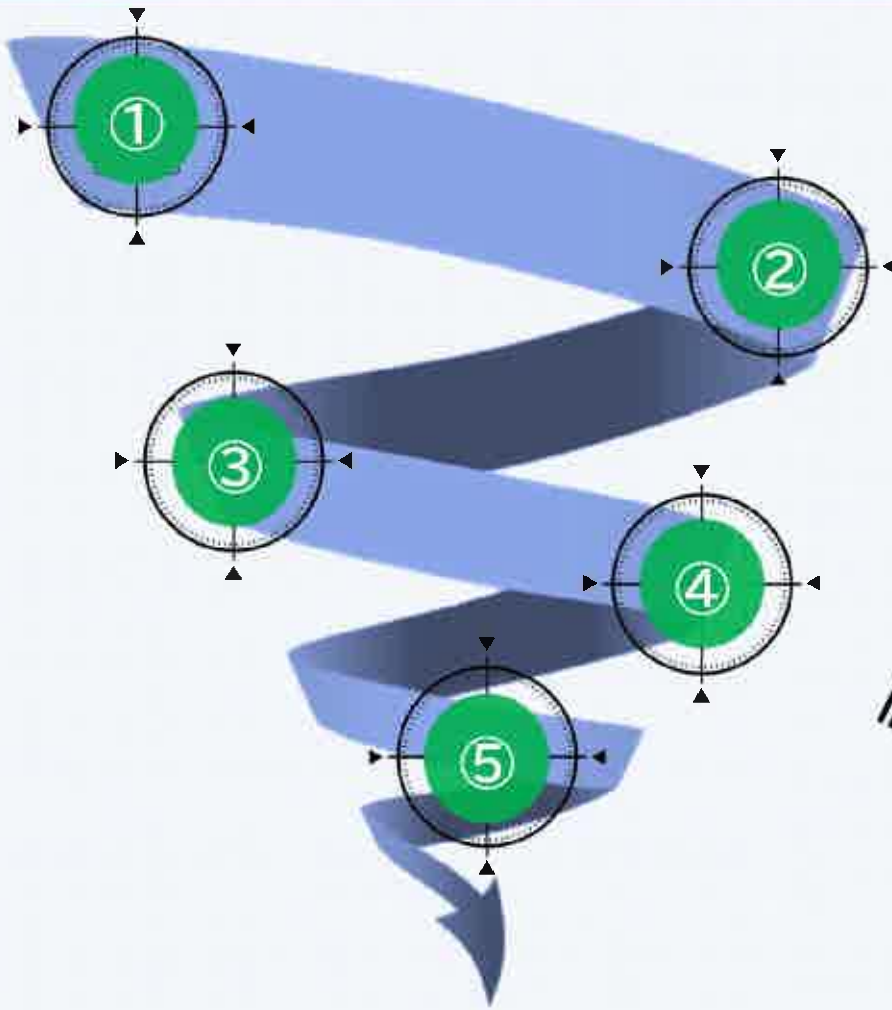


## 【計画期間】

**5年間**（2024年度～2028年度（令和6年度～10年度））の計画とします。

## 北九州市の経済が停滞した主な要因

- ①人口減少の中での投資停滞
- ②第三次産業の成長停滞
- ③基幹産業である製造業の伸び悩み
- ④産業の新陳代謝停滞
- ⑤若者の人材流出



停滞からの「再起動」に向けて  
負のスパイラルをプラスの好循環  
に転換させていく

①人口減少による国内需要の減少、  
労働力不足の深刻化

②デジタルテクノロジーの急速な発展

③カーボンニュートラル実現に向けた  
競争環境の変化

④地政学リスクの高まり

⑤自然災害の激甚化・頻発化



## 2 戦略策定の背景（3）北九州市のポテンシャル



ポテンシャル



① 豊富な理工系人材



② 北九州学術研究都市（知の集積）



ポテンシャル



③ 24時間利用可能な北九州空港



④ 陸・海・空の充実した物流インフラ



⑤ 豊富な工業用水



⑥ 次世代エネルギーの集積



⑦ 災害の少なさ（BCP）



⑧ 低廉なコスト



ポテンシャル



⑨ ものづくり企業の集積



⑩ 環境産業の集積



行政だけでは得られない民間ならではの視点、新しい発想やアイデアを取り入れることを目的に、北九州市未来産業創造会議を設置



### <会議の中で多くの方から発言のあったキーワード>

- ・ 目指すべき方向性を明確化
- ・ ポテンシャル(災害リスクの低さ、グリーン、ものづくり技術、学研、空港、物流インフラ)を開花
- ・ 周辺都市との連携
- ・ 掛け合わせ
- ・ 課題解決に活路
- ・ 特区の活用（健康・医療、農業等）
- ・ 高付加価値化
- ・ ブランディング（観光等）
- ・ テック系人材
- ・ 人材育成・確保
- ・ 多様な人材の活躍促進
- ・ 産学官連携

など



## 戦略で目指す姿と方策（体系図）

【スローガン】 **世界を先導する「グリーン×テック シティ Kitakyushu」**  
 ～課題解決先進都市への挑戦～

実現のための3つの戦略

【戦略①】  
 地域企業の成長・発展と  
 高付加価値化戦略  
 〈稼げる企業に変革する〉

【戦略②】  
 産業の裾野を広げる  
 成長産業創出戦略  
 〈稼げる企業を創出する〉

【戦略③】  
 「民」が主役の資源活用戦略  
 〈稼げる企業が活躍する〉

戦略を支える6つの横断的方策

【方策①】  
 産業基盤のポテンシャル  
 開花  
 〈稼げる場づくり〉

【方策②】  
 学術研究都市の知の活用と  
 GX・グリーン産業の推進  
 〈稼げる基盤づくり〉

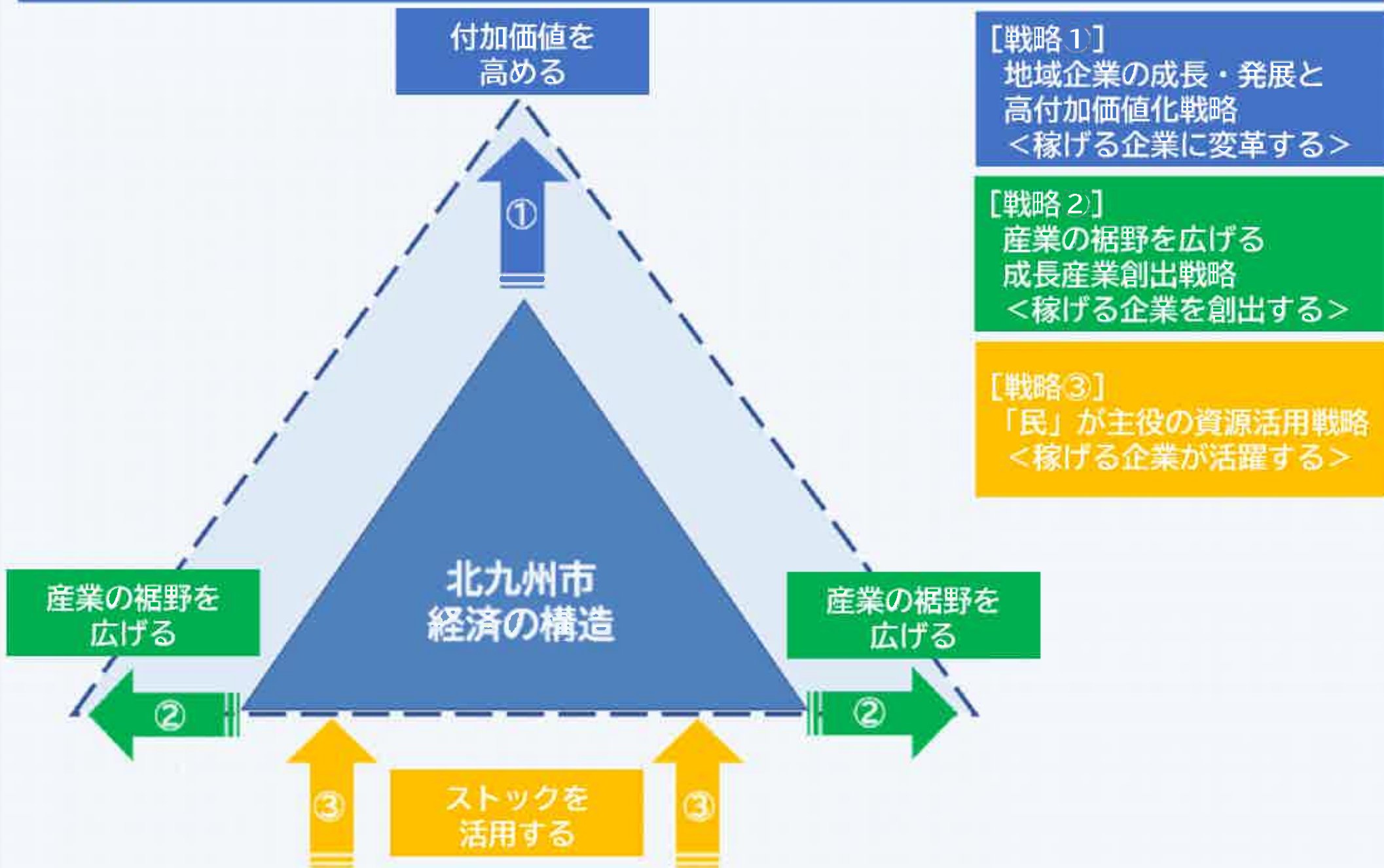
【方策③】  
 生産性向上と新しい価値  
 創造に向けたDX推進等  
 〈稼げる企業づくり〉

【方策④】  
 DE&I推進による誰もが  
 活躍できる環境の整備（※）  
 〈稼げる人材づくり〉

【方策⑤】  
 アテンションを集める  
 ブランディング  
 〈稼げるきっかけづくり〉

【方策⑥】  
 メガリージョンの構築  
 〈稼げるエリアづくり〉

### 3 戦略で目指す姿と方策（経済成長のイメージ）





【最上位目標】

**市内総生産額 4兆円 (R15年度)** ※R2年度 3兆6,696億円

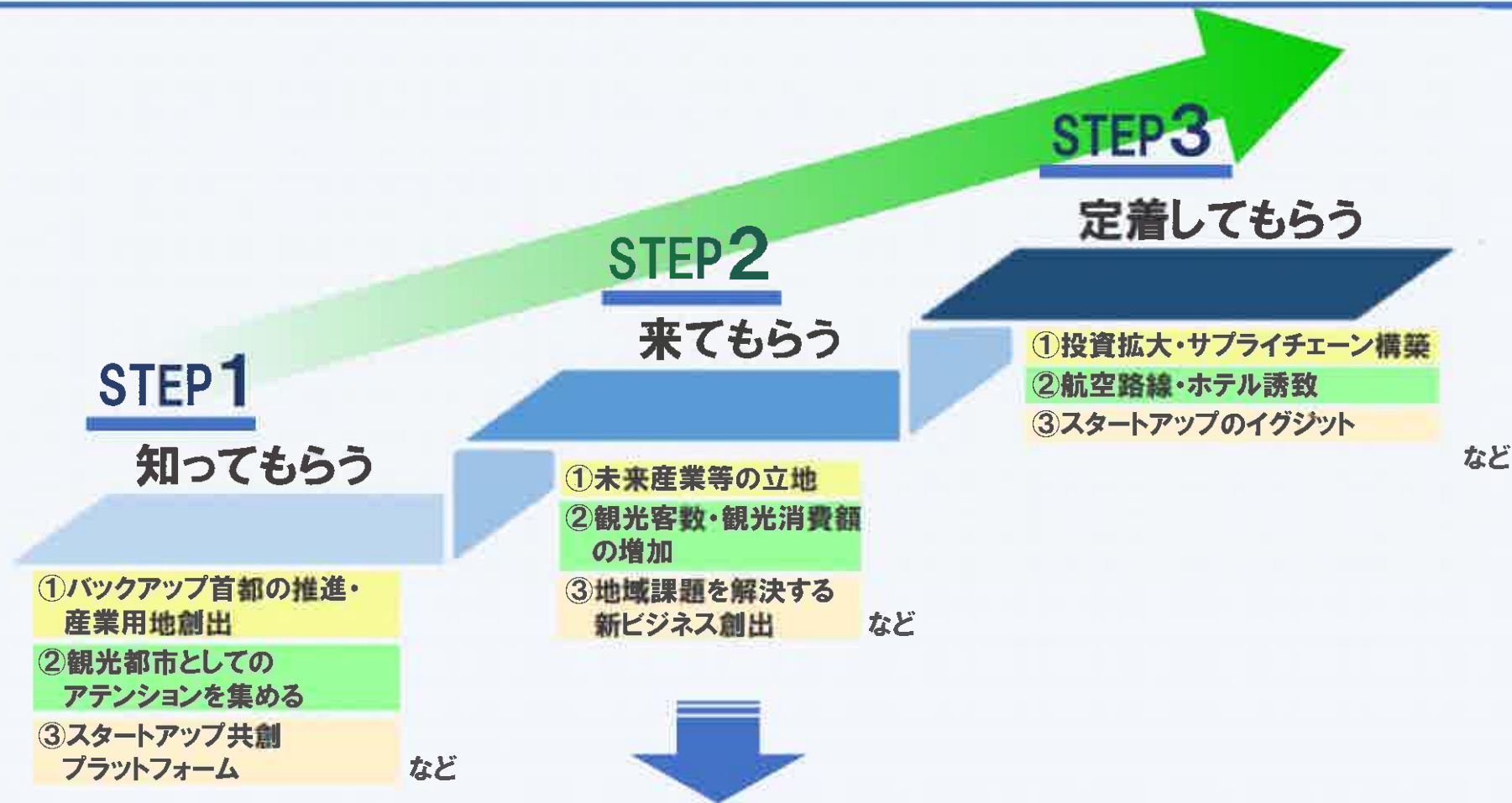
実現のための3つの戦略

【戦略①】 地域企業の成長・発展と  
高付加価値化戦略  
〈稼げる企業に変革する〉

【戦略②】 産業の裾野を広げる  
成長産業創出戦略  
〈稼げる企業を創出する〉

【戦略③】 「民」が主役の資源活用戦略  
〈稼げる企業が活躍する〉

ダッシュボード	検証指標	
方策①産業基盤のポテンシャル開花	I 企業誘致件数	
	II 新規雇用創出数 (誘致)	
方策②学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進	III 先端企業の集積・GX関連の新ビジネス創出企業数	
	IV 再生可能エネルギー導入量	
方策③生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等	V 労働生産性 (全産業・第三次産業)	
	VI 雇用者一人当たりの雇用者報酬	
	VII スタートアップイグジット件数	
方策④DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備	VIII 新卒学生の地元就職率	
	IX 就業率 (女性・シニア・外国人)	
方策⑤アテンションを集めるブランディング	X 観光消費額・宿泊客数	
方策⑥メガリージョンの構築	XI スタートアップ資金調達額	
	XII スタートアップ誘致件数	



そして、中長期的に、この戦略の最終目標である

『世界を先導する「グリーン×テック シティ Kitakyushu」』  
～課題解決先進都市への挑戦～

を実現していきます。

## 【方策①】産業基盤のポテンシャル開花

〈稼げる場づくり〉

- (1) バックアップ首都の推進
- (2) 経済安全保障の観点を踏まえた重点分野等の誘致促進
- (3) 民間の知恵と活力を生かした産業用地の創出
- (4) アジア諸国の成長力を取り込む対日投資の促進
- (5) 九州・西中国の物流ハブ形成

## 【方策②】学術研究都市の知の活用と以・グリーン産業の推進

〈稼げる基盤づくり〉

- (1) 将来の経済成長を力強く牽引する未来産業の振興
- (2) 産学官金、オール北九州でGX投資を促進
- (3) グリーンスクールへの転換に伴う事業変革
- (4) 「北九州グリーンインパクト」の推進
- (5) アジアの社会課題解決への貢献と国際ビジネスの推進

## 【方策③】生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等

〈稼げる企業づくり〉

- (1) DX製造革命の推進
- (2) 地域を支える中小企業の成長・発展に向けた経営基盤の強化
- (3) 地域中核企業の飛躍的成長への挑戦
- (4) 商業・サービス産業の生産性向上、多様な新サービス産業の集積促進
- (5) スタートアップと多様な掛け合わせによる新たな価値の創造
- (6) 国家戦略特区など規制緩和による投資環境の整備

## 【方策④】DEBI推進による誰もが活躍できる環境の整備

〈稼げる人づくり〉

- (1) 将来を担う若者の地元就職促進と魅力的な職場づくり
- (2) 女性がいいきと働きやすい環境づくり
- (3) シニア・外国人材など多様な人材が活躍できる環境の整備
- (4) 地域経済の担い手である中小企業を支える人材の確保・育成
- (5) 能力開花につながるリスキリングの促進

## 【方策⑤】アテンションを集めるブランディング

〈稼げるきっかけづくり〉

- (1) 北九州市への関心呼び覚ます広報・ブランディングの推進
- (2) 首都圏等における企業誘致プロモーションの強化
- (3) 人を呼び込み、にぎわいを創出する観光・MICEの推進
- (4) 経済成長のエンジンとなるインバウンドの推進
- (5) 国内外の若者を惹きつけるエンターテインメントの推進

## 【方策⑥】メガリージョンの構築

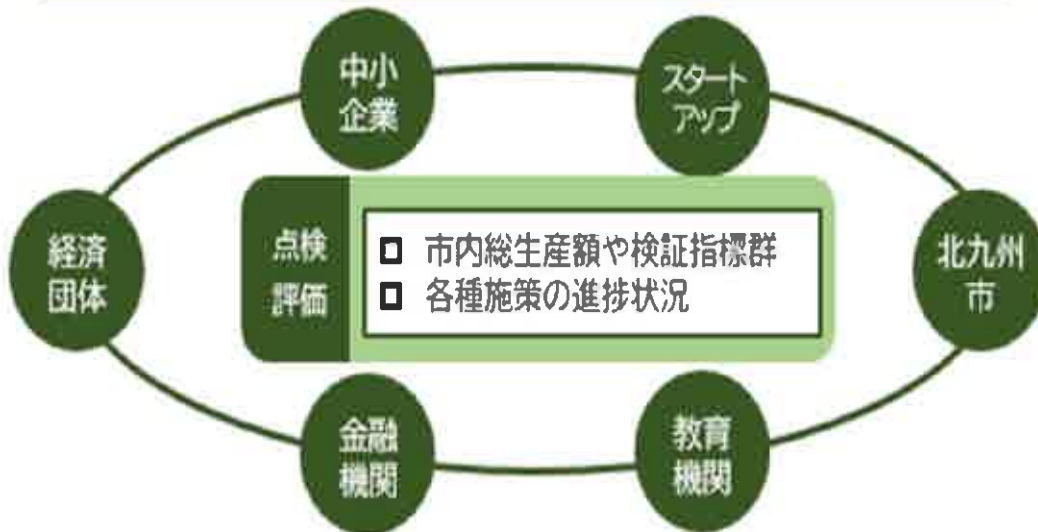
〈稼げるエリアづくり〉

- (1) エリアで惹きつける広域観光・インバウンド・MICEの推進
- (2) エリアで呼び込む広域産業集積・投資の促進
- (3) エリアで掛け合わせる広域連携スタートアップ支援の推進
- (4) 北九州空港、福岡空港の役割分担と相互補完の推進

# 推進体制（案）

## （仮称）北九州市産業共創プラットフォーム

### （仮称）北九州市成長戦略会議（進捗管理）



### 部会

□ 横断的方策の取組や事業などについて意見交換等

産業基盤の  
ポテンシャル開花

学術研究都市の知の活用  
とGX・グリーン産業の推進

生産性向上と新しい価値  
創造に向けたDX推進等

DX推進による誰もが  
活躍できる環境の整備

アテンションを集める  
ブランディング

メガリージョンの構築

■ 未来産業創造会議 ■ 同会議WGメンバー ■ 関連民間企業 ■ 市役所関係課

北九州市

政策提案  
連携・協力

### （仮称）北九州市官民対話 テーブル

企業  
経営者

- 毎年度、2つ程度の官民連携リーディングプロジェクト、KPIを設定
- プロジェクト推進のための協議・アクション等

北九州  
市

官民連携・データ  
プロジェクトの提案  
情報提供

### 官民連携リーディングプロジェクトの例

- 半導体を始めとした未来産業の誘致
- スタートアップの創出
- 次世代自動車産業の振興
- 高級ホテルの誘致 等